

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス さんらいず		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日 ～ 令和7年3月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達に応じた支援を検討し、活動に取り組んでいる。	一人ひとりの発達に応じて支援内容を日々検討して、より良い支援に努力している。	一人ひとりの行動(出来事等)を全職員で共有して支援の方法などを検討している。また、利用している学校・保育所・相談支援事業所・関係機関と情報交換を図りながら、より良い支援方法について検討し合い利用者さんの成長を見守って行きたい。
2	利用者本人の体調や様子などをご家族からLINE等で常に情報交換している。	利用者の様子については、連絡帳やお迎え等の際に報告し、さらにはLINEにて活動の様子などを写真や動画を送り、連携を密に図っている。	今後もご家族とのLINE等でつながりながら、ご家族と共に利用者本人の成長につなげていく。利用者さんの様子だけでなく、講演会や催し等をLINEを通して、より広範囲な情報を提供していきたい。
3	令和6年4月より施設を移転したことにより、活動場所が広がった。	遊具を常設したり静かに活動する場所、動きを取り入れた場所、自由に遊べる場所など分けて活動ができるようになった。	敷地内の整備等を実地し、安全安心して送迎ができるようにし、さらに遊具を常設して外遊びを充実させていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族間の交流の場が少ない。	これまでミニ運動会(児童発達支援)では、ご家族も参加するように声かけを行っていたが、保護者全体への参加は計画していなかった。	保護者合同の行事などを計画し、可能な範囲で保護者間の交流する機会を作っていきたい。 例、いちご狩り、運動会、夏休みや振替休日お出掛け等
2	ペアレント・トレーニングなどの研修会などの取組が提供できていない。	事業所開所時にペアレント・トレーニングの講演会を実施したが、それ以降実施していない。	ペアレント・トレーニング研修会等の情報提供に努めていきたい。
3	地域との交流の場が少ない。	近隣のいちご農園にて、毎年いちご狩りをさせて頂きの交流している。また、就労支援施設や商店、子どもセンター、町施設体育館や図書館に出向き、ささやかではあるが、交流を行っている。	地域との交流がさらに深められるように積極的に交流する機会や内容を検討して進めていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス さんらいず

公表日 令和7年4月28日

利用児童数 令和7年1月10日

回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2				現在の施設に併せて、児童発達支援の活動を実施し、必要な教材・遊具類を常時配置して活動できるようになりました。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1		利用されるお子さんに対して十分な職員を配置し安全、安全に留意した活動を実施致しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1		1		雇った静の活動場所、動きを取り入れた活動場所、自由に遊べる場所と分けて活動致しております。ぜひ機会がありましたら、活動の様子や施設内見学にいらしてください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	5					
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1				お子さんの発達段階やニーズに応じて活動内容を検討しながら支援しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1		1		子どもセンターや夢ふうせん等の行事に進んで参加し、交流の機会を回っています。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2		1		さんらいず開設時に講演会を実施しましたが、その後実施できずにあります。本施設の実施も検討致します。また、他機関実施の提供を進めて参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2		2		新年度には、保護者の方々と一緒に活動の計画し、交流の機会を協定したいと思います。話し合う中で保護者会や兄弟交流会等を次第に作り上げていきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5					

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	5					
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5					
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			1		成就感や達成感が得られるようなプログラムを設定し、楽しかった、またしたい等の気持ちを汲み取り、次の活動内容を継続見直しさせております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				いつも大庭観身に優しく接して下さいます。子どもも通所を楽しみにしており、自ら勉強する姿勢が増えました。本当にありがとうございます。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス さんらいず		令和7年4月28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・狭さを感ずる	新施設となり、児童中心のB棟は、静の活動場所、動きを取り入れた場所、自由に遊べる場所と分けて活動しています。狭くならないように、整理整頓して活動できるように致します。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・玄関や部屋に段差があり歩行が不安定な子は、つまずいて転んでしまう。	新施設利用1年を経過し、色々な不具合を確認していきながら、環境整備にあたっていきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・活動/運動などお部屋を分かりやすく分けている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		今回、評価表配布が年明けでの実施となったため、集約が遅くなり、新年度に入ってから意向把握となってしまいました。今回の評価表を全職員で確認し、業務改善につなげて参ります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・打合せや活動中に意見を交換・共有している。 ・打合せ時の話し合いや年度末の評価意見より改善に向けて努力している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・第3者で評価する人がいるか不明 ・今後、適切な評価者を選出し評価頂けるようにしていくと良い。	第三者評価機関に評価して頂くことは、有料高額なため経営上難しい面もあります。このため、近隣外部関係機関の方にお願いする方向で進めていきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・1日のスケジュールを作成している人がほぼ一緒なので日々いろいろな意見を聞いていきたい。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・次の日の打合せ等にて振り返っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・お迎えの時や会議等で情報共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・児童→小学校入字のお子さんの場合、児童の時の活動内容や経歴について資料を作成している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	1	3		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	3		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・市内のこどもセンターにて、リトミック、季節毎の行事等に参加し、市内外のお子さんと一緒に遊ぶ機会を作っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		・事業所開所時にペアレントトレーニング講演会を実施しました。研修会等のどう配布にて提供しています。今後さらに研修会等の情報提供に努めて参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	・今後、保護者会等の活動を計画していきたい。	新年度は、保護者合同の行事を計画し、可能な範囲で保護者同士の交流する機会を作りたいと思っています。児発は運動会、放デイは夏休み、振り休日などに計画し、話し合いの中で父母の会の活動が無理負担なく進められたら良いと考えます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		常に机上整理に努めるよう声がけて、意識づけて参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・現在は民生委員さん、役場関係事業所等招待しているが、移転して1年が過ぎ、さらに地域の方々に開かれた運営を進めていきたい。	移転した昨年度は、町の民生委員さんの見学を招待致しましたが、今年度は、より地域の方々とつながりがもてる機会を増やしていきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・てんかん発作時の対応マニュアルを作成している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			